

民生委員児童委員について

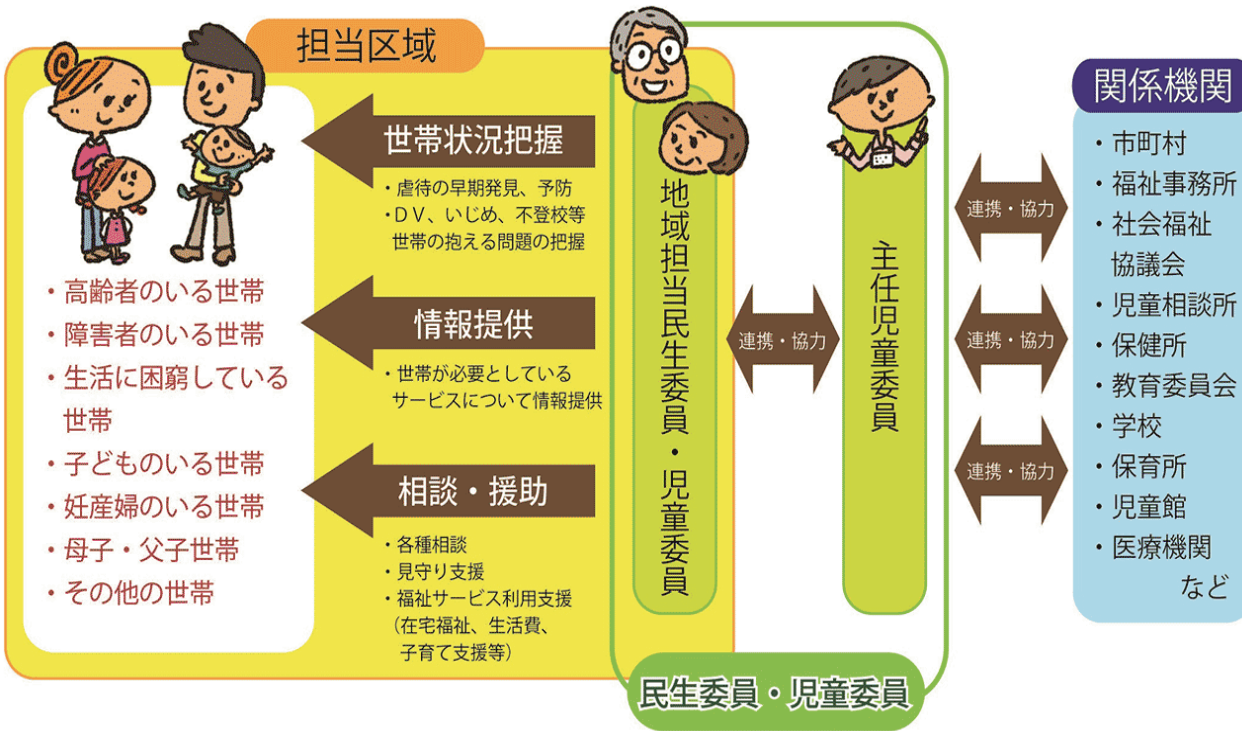
- ・ 候補者探しのご協力をお願い
- ・ 民生委員の活動について

健康福祉部社会福祉課社会係

民生委員児童委員の候補者探しのご協力に感謝します！

- ▶ 民生委員児童委員は現在（令和5年4月1日） 176名（定数203名）
- ▶ 現任委員の任期は令和4年12月1日から令和7年11月30日まで（3年間）
期間途中の場合も令和7年11月30日まで委嘱
- ▶ 欠員地区の委員について、引き続き候補者探しにご協力ください！
（令和5年4月1日にも新たに10名の委嘱がありました。）
- ▶ 欠員となる区域内的の自治会の皆様には、各地区の会長からご連絡をさせていただくことがあります。
- ▶ いつもお願いばかりで恐縮ですが、ご協力を賜りたく、お願い申し上げます。

民生委員・児童委員、主任児童委員の活動について



現在176名の民生委員児童委員が中学校区を基準に9地区に分かれて、地域の見守り、支援や関係機関への橋渡しなど、様々な活動をしています。また、市内各小学校を受け持つの主任児童委員がおり、学校等と連携して児童の見守りを行っています。

民生委員・児童委員は地域の見守り活動を行っています

各地区 活動の様子

【東深井地区】

東深井地区は通学路見守りボランティアに力を入れています。なかでもボランティア歴16年の服部音二さんが、この活動を始めきっかけは働いている時にできなかった地域の恩返しと子どもが好きだった事でした。通学路は、交通量も多く信号もない抜け道もある為、自転車や車が数多く往來します。服部さんは子供への挨拶はもちろん、体調が悪そう等、心身の変化に気になることがあれば声をかけます。励みは子供達がしっかり挨拶を返してくれること！



東深井地区

【常盤松地区】

常盤松地区は、おおたかの森地区の開発に伴い新旧の住民が入り交じり、活気のある変化に富んだ地域です。八木北地区社協では毎年「健康チェックデー」(例年100名以上参加)を開催し、身体測定・骨密度測定等の他、インフルエンザの予防接種も集団で行って来ました。永年の経験から培ったそのノウハウを、今後いつまで続くかわからない新型コロナウイルス感染症のワクチン接種に活かさないものかと考える昨今です。



北部地区

【北部地区】

市内には14の子ども食堂があり、この地区では生涯大学校こども食堂とみんなの江戸川台キッチンがあります。どなたでも参加でき、地域のコミュニティの場を目指して活動中。現在、会食不可の為、フードパントリーやお弁当配布を、夏休みにはお弁当、先生付きで勉強会を実施しました。冬休みにも実施予定あり。

スタッフは全てボランティア。コロナが終息し、みんなで会食できる日を心待ちにしています。



常盤松地区

広報誌「みんじきょう」
vol.24より抜粋

各地区 活動の様子

【西初石地区】

当地区では、西初石地区社協と連携して活動を行っています。毎年、敬老の日には75歳以上の高齢者を対象にお赤飯の配布を行っており、令和3年度は1902個の配布となりました。各自治会の協力の下、各個人へ配布されています。

長生きをお祝いするとともに、接点をつくることで見守り活動が充実するよう取り組んでいます。



西初石地区

おおたかの森 おおぐろの森地区

【おおたかの森・おおぐろの森地区】

おおぐろの森小学校も開校し、ますます人口が増えたこの地区です。地域の安心、安全の為に役立ちたい・そんな思いで、いつ起こるか分からない災害に備え「避難所運営訓練」を地区社協主催で行いました。コロナ禍でしたが、各自治会や学校関係の方々など参加のもと、総務・救護・物資など3グループに分かれてそれぞれの役割を確認しました。いざという時の為に普段からの訓練、地域のネットワークがとても大切だと思います。



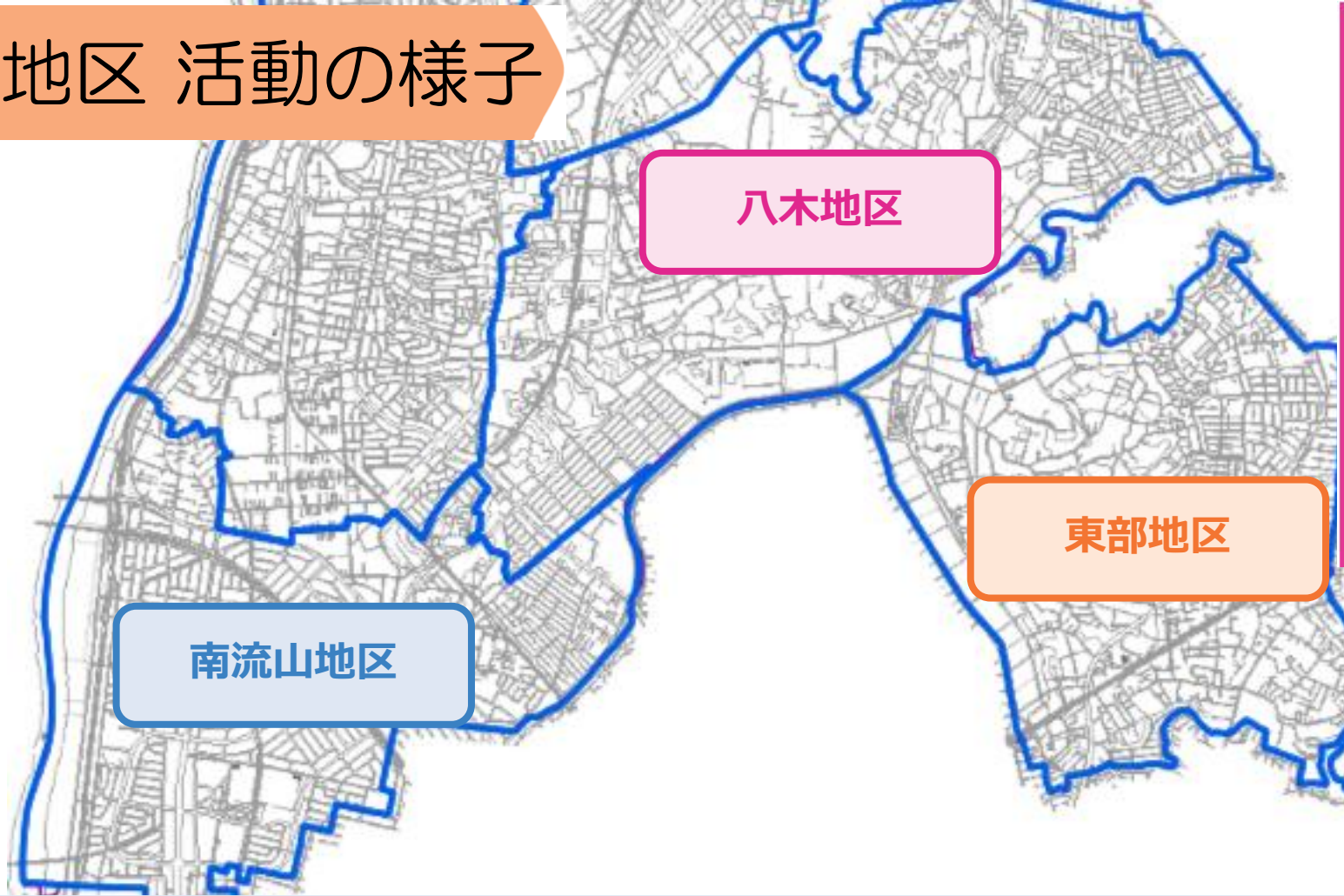
【南部地区】

南部地区からは朝の挨拶運動をご紹介します。通学路で「おはよう」の声掛けを続けて5年。初めの頃は声をかけても怪訝に思われたり、無反応の子もいましたが、今では顔も覚えてもらったらしく、元気に返事がくるようになりました。そのきっかけは自宅前が通学路だったのと交通事故などに注意してもらえればと考えてスタートしたとのこと。元気に今日も朝の挨拶運動を進めてるのは平和台在住の湯浅武久さんです。



南部地区

各地区 活動の様子



八木地区

東部地区

南流山地区

【八木地区】

長崎地区社協と八木南地区社協の活動に参加しています。長崎地区では介護重度化防止推進のため、開始以来5年「ながいき100歳体操」を行っています。おもりを手首・足首に巻き童謡を歌いながらゆっくりと手足を動かします。



八木南地区では、買い物が困難な方のために移動スーパーが指定場所の6カ所に毎週火・金の午後2時～5時に開店しています。地域の皆様には大変便利に利用できると喜んでもらっています。



【東部地区】

当地区では、東部地域包括支援センターとの共催で「福祉」の学習をスタートする小学校（東小・向小金小）4年生を対象に、6年前から「認知症キッズサポーター養成講座」を毎年開催しています。そして認知症に関する正しい理解を深め、認知症の方やその家族の方々が安心して暮らし続けられる地域づくりの応援団を養成しています。地域のつながりや支え合いにより、認知症の方やその家族の方々の穏やかな生活が期待されます。



【南流山地区】

地区定例会において、委員から当地区の広報誌を作成してはとの提案があり、民生委員・児童委員のアピールを兼ねて令和元年「民生だより」第一号の発行に至りました。5名の担当で構成し、我々の活動を解りやすく説明したり、委員が収拾した地域の情報から、運動不足になりがちな高齢者のための自然を感じながら散歩できる安全な遊歩道の紹介をしたり、時にはクスッと笑える川柳を掲載したりと工夫を凝らしています。コミュニケーションに欠けるコロナ禍、つながりを感じていただけたらと思います。



広報誌「みんじきょう」
vol.24より抜粋

子育てサロンの ご紹介

民生委員
・児童委員は **子育て応援団** です

ひとりで悩まずに相談してください



子育て
サロン
サンサン



流山市生涯学習センター
流山市中110
☎04-7150-7474

ひよこ
サロン



名都借福祉会館
流山市名都借274
☎04-7144-5510

ちょっと
ぽっと
タイム



ほっとプラザ下花輪
流山市下花輪227
☎04-7150-4126



広報誌「みんじきょう」
vol.24より抜粋

最後に・・・こんなことも（広報用）

NEWS

平均年齢60代の民生委員が人生初のラップで活動PR「♪神でもないし仏じゃない けど困った人はほっとけない」

曲名は「民Say! Rap!」。若者に人気のラッパー、晋平太さんが監修をしており、動画では民生委員の活動の様子も紹介されている。

福祉新聞

2019年11月14日 12時14分 JST



「民Say! Rap!」で地域への思いなどをアピールした 福祉新聞

現役の民生委員が活動の原点である「隣人愛」をラップで歌う動画（2分39秒）が10月31日、制作した全国民生委員児童委員連合会のホームページやYouTubeで公開された。

曲名は「民Say! Rap!」。若者に人気のラッパー、晋平太さんが監修。歌詞には「伝えたかった町への感謝」「困ったときは相談がベスト」といった民生委員の地域への思いや活動への誇りが込められている。

登場する民生委員は15人。平均年齢は60代で、人生初のラップに挑戦した。地域の商店街や公園、駅前などを背景に、軽やかなリズムにのせて体全体で歌い上げている。

動画では、高齢者宅への訪問や子ども食堂における民生委員の活動の様子も紹介している。

（福祉新聞 2019年11月14日 12時14分）